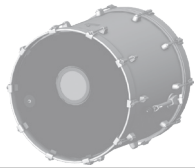


同梱物の確認

パッケージを開けたら、同梱物に不足がないか確認してください。不足しているものがあつたときは、購入した販売店へお問い合わせください。

本体



キック・ドラム・パッチ
(フェルト・ビーター用の打面保護パッチ (*1))



ウッド・フープ・プロテクター×2



接続ケーブル



ドラム・キー

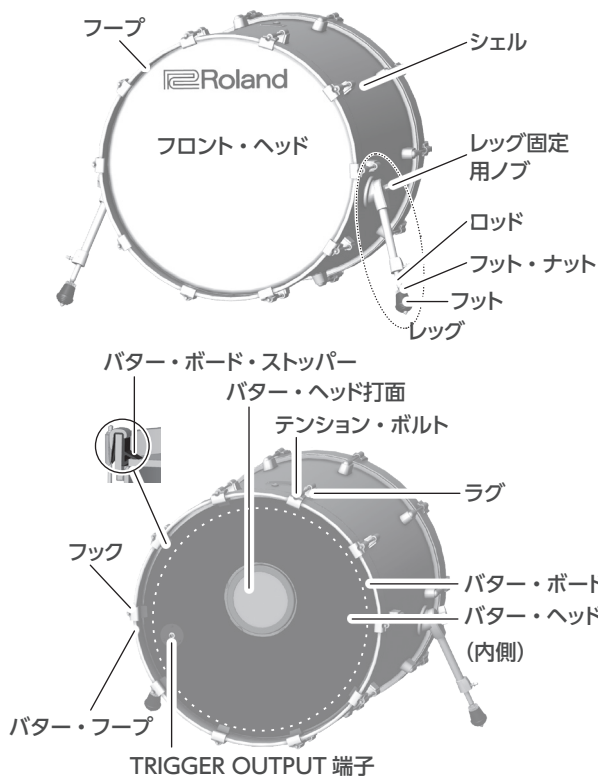


取扱説明書、保証書

- ※ このパッケージには、キック・ペダルは含まれていません。市販のキック・ペダルを装着してお使いください。
- ※ 本製品がローランドのドラム・キットに付属されている場合、パッケージの同梱物が異なる場合があります。

*1:ビーターは、フェルト・ビーター、プラスチック・ビーター、ウッド・ビーターなどをお使いいただけます。フェルト・ビーターを使う場合は、付属のキック・ドラム・パッチを打面に貼ってください。フェルト・ビーター使用時は、キック・ドラム・パッチを貼っても打面にフェルトの打痕が残る場合があります。

各部の名称



※ バター・ボードとバター・ヘッド打面の隙間などには手や指を入れないでください。ケガや破損／故障の恐れがあります。

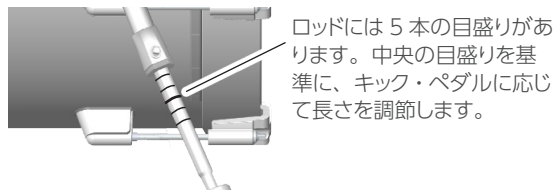
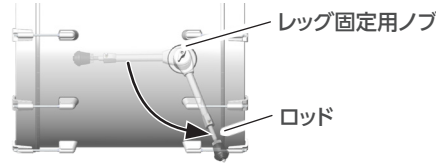
組み立て

注意

本体が重いため、作業中に手や足を傷つけないように、十分ご注意ください。

1. レッグ固定用ノブを緩め、レッグの角度を調節してからレッグ固定用ノブを締めます。

レッグの長さが左右均等になるように、ドラム・キーを使ってロッドの長さを調節します。



2. 設置場所に合わせて、レッグの先端（スパイク／ラバー）を調節します。

	柔らかな床面
スパイク	V-Drums マット (TDM シリーズ)、カーペットなど
ラバー	固い床面 フローリング、コンクリートなど

フット・ナットを緩め、フットを回して上に動かすと、スパイク部分が出ます。

フット・ナットを締めると、フットの位置を固定できます。スパイクの出しかた



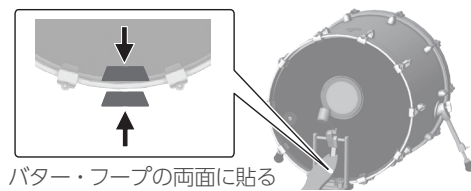
フット・ナットの締めかた



※ スパイクの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。

※ フローリングなどの床の上でスパイクを使うと、傷をつける恐れがあります。

3. キック・ペダルの取り付け位置に、ウッド・フープ・プロテクターを貼ります。



※ 貼り付け後 1 日経ってからキックペダルを取り付けることで、ウッド・フープ・プロテクターの粘着力が安定します。

4. キック・ペダルを取り付けます。

ビーターがバター・ヘッドの打面中央に当たるようにキック・ペダルの取り付け位置を調節し、キック・ペダルと KD-22 を確実に固定します。

※ 指を挟まないよう、十分に注意してください。



フェルト・ビーターを使う場合

バター・ヘッド打面を保護するため、必ず付属のキック・ドラム・パッチを打面に貼ってください。

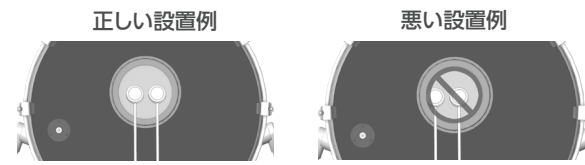
フェルト以外のビーターを使う場合でも、パッチを取り付けての使用は問題ありません。

※ パッチをはがした痕跡の糊（のり）が気になる場合は、アルコールを含ませた布で拭き取ってください。

※ アルコールはバター・ヘッド打面以外に使用しないでください。樹脂や木部などにアルコールが付着すると、変色や破損につながる恐れがあります。

ツイン・ペダルを使う場合

KD-22 は、ツイン・ペダルを使用することもできます。2 つのビーターの打点が、バター・ヘッド打面の中心から左右対称になるように設置してください。

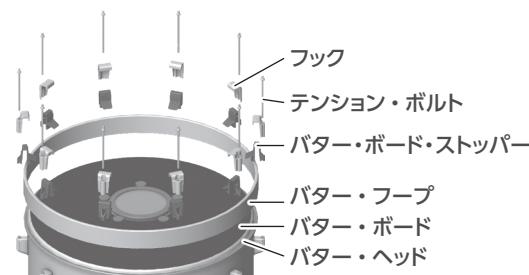


ビーターの打点が適切な位置にならない場合

キック・ペダルによっては、2 つのビーターの打点がバター・ヘッド打面の中心から左右対称になるように、KD-22 に取り付けられないことがあります。

この場合は、以下の手順でバター・ヘッド打面の位置を調整してください。

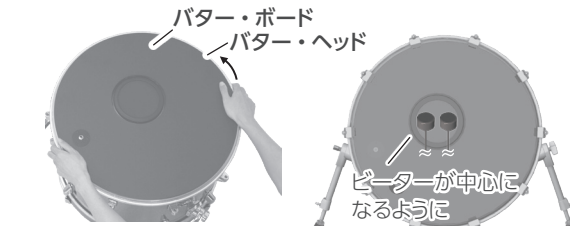
1. テンション・ボルトを緩め、フック、テンション・ボルト、バター・ボード・ストッパー、バター・フープをすべて取りはずします。



注意

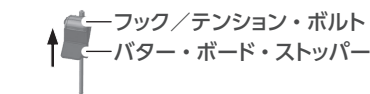
ケガや破損／故障を防ぐため、バター・ボードとバター・ヘッドはシェルからはずさないでください。作業中に手や足を傷つけないように、十分ご注意ください。

2. バター・ボードと一緒にバター・ヘッドを回し、ビーターが中心になるように調整します。

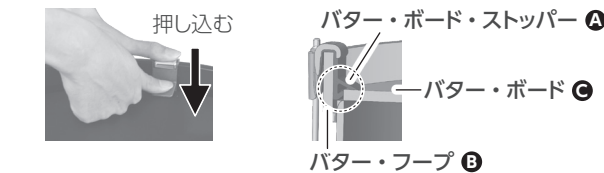


3. バター・フープを戻します。

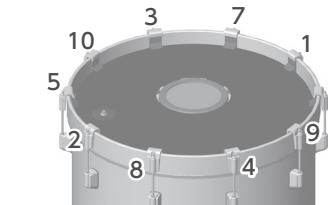
4. フック／テンション・ボルトに、バター・ボード・ストッパーを取り付けます。



5. 対角線を結ぶ順でフックとバター・ボード・ストッパー A を指で押して、バター・ボード・ストッパー A をバター・フープ B とバター・ボード C の間に押し込むようにしながら、テンション・ボルトをラグに差し込みます。



6. 対角線を結ぶ順で、フックのガタつきがなくなるところまでテンション・ボルトを軽く締めます。



7. さらに、すべてのテンション・ボルトを 3/4 回転させて、バター・ボードを固定します。

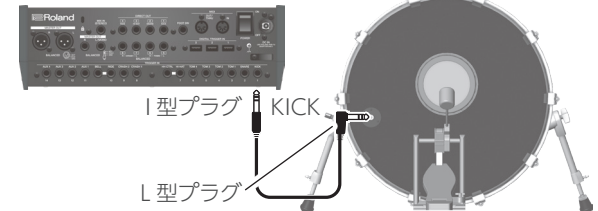
※ バター・ボードの締め付けが弱いと、センサーの誤動作や、打撃音が大きくなる原因になります。

ドラム音源と接続する

KD-22 をドラム音源に接続します。

付属の接続ケーブルで接続してください。接続ケーブルの L 型プラグを KD-22 の TRIGGER OUTPUT 端子に接続します。

例: V71



推奨パラメーター設定

KD-22 を各ドラム音源でご使用になるときの、トリガー・パラメーターの推奨設定値です。

ご使用のドラム音源の「PAD TYPE」または「TRIG TYPE」に「KD-22」がある場合は、「KD-22」に設定してください。設定値に「KD-22」がない場合は、ローランド・ホームページのサポート情報をご確認ください。

https://roland.cm/trigger_prm



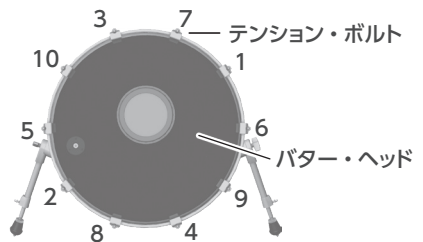
KD-22 の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。

設定方法は、各ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドの張り具合を調節する

KD-22 を演奏する前に、バター・ヘッドの張り具合を調節してください。張り具合によって、打感触（演奏感）を変えることができます。

1. それぞれのテンション・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結ぶ順に調節します。



※ 1 箇所のテンション・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感触が得られなくなるだけでなく、誤動作の原因にもなります。

2. ヘッドの張り具合が均等になるように、各テンション・ボルトの締め具合を調整します。

ナチュラル・マークについて

シェルのフィニッシュによっては、天然の風合いや質感を活かした仕上げにしています。

そのため、お買い上げいただいた個体や部品ごとに色や木目（ナチュラル・マーク）が一品一品違うものとなっております。

これは使用している木が天然であることの証であり、品質には何ら問題ありません。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1